

元気で躍進 地域経済

北海道の児童に贈り物

武四郎学び 三重化学、井村屋、夕刊三重が 松阪市で交流



プレゼントの首用クールバンドを紹介する三重化学工業の山川さん(左)とアイヌのいでたちの児童会役員=小野江町の小野江小で

北海道と松阪市の小学6年生同士の交流会が30日午前9時40分から、松阪市小野江町の市立小野江小学校(岡田良和校長)で行われ、そのオープニングセレモニーの中で同市大口町の三重化学工業(株)(山川大輔社長)など民間企業4社から北海道

の児童らにプレゼントが贈られる一幕があった。(1面に関連)

この日は、北海道教育庁が道内一円から募った児童30人が小野江小を訪れ、6年生58人と一緒に、松浦武四郎(北海道の名付け親)についてそれぞれが学んだことを紹介し

響・映像機器が2セットしかなく、庁内で空いている機器を探して使っていた。そこで竹本社長(68)が「市民のための市民の政治のための活動が円滑にいくように」との思い

この日は、竹本さんが山本芳啓議長に目録を手渡し、山本議長が竹本さんに感謝状を贈った。竹本さんはあいさつで「松阪市大好き人間なので、市がより良く住み良

3日まで抽選会 おおきん祭り中止で 北部商工会嬉野支所 松阪市嬉野・三雲地域の商工業者でつくる松阪北部商工会(野瀬岩朗会長)は現在、同市嬉野町の同商工会嬉野支所でおきん祭りの抽選会を行っている。8月3日まで

事前に会員事業所で商品を買った客らに配られた。また同まつり実行委員会が嬉野地域住民に配ったうちわを持参してもくじを引ける。 特等は会員事業所で使える商工振興券(商品券)3万円分(6本)。1等は同1万円分(12本)、2等は同2千円分(60本)、3等は井村屋の「武四郎ようかん」(300本)。空くじなし。

情報システムが寄付「議会報告会用に」アンブレや投影幕など 松阪市駅部田町のソフトウエア開発・情報システム・J・T(株)(竹本博志代表取締役)は、市議会が市内各地に出向いて行う議会報告会で使うワイヤレスアンブレ一式、80インチのスクリーン、プロジェクター各2セットを30日、市議会に寄贈した。同日午前10時から議会第1・2委員会室で、

贈られた音響・映像機器と竹本さん(右から2人目)と山本議長(同3人目) 市役所で

しい。市のために第一に進めるべきということ は、党や会派に関係なく進めていってほしい」などと話した。

山本議長は「ますます市民の目線に立つて情報発信していくための格好の機材」などと謝意を示した。

★宇野 8時10分以下、松阪市、土木施 8時10分以下、松阪市、土木施

合い、交流した。 交流学習に先立つセレモニーの中でプレゼント交換が行われた。その際、双方の児童らは入り交じって手から手へとプレゼントを渡して交流した。

北海道側からは、同校へアイヌの刺しゅうのタペストリーが贈られた。他、児童一人一人に北海道版道徳教材(小学校高学年用)『きた ものがたり』北海道の先人の

生き方に学ぶ)、武四郎が描いたえぞ地(現在の北海道やサハリン)の地図をあしらったクリアファイルをプレゼント。 小野江小側からは、同市の紹介資料などに加え、同市発祥の井村屋グループ(本社津市)の菓子と、三重化学工業の首に巻くタイプの保冷剤「首用クールバンド」、松阪市役所の

(本社津市)発行の「自由訳 十勝日誌」、(株)夕刊三重新聞社発行のガイド本「松阪さんぽ」など多気郡が各児童に贈られた。

また、三重化学工業営業部の山川輝さんは「これを首に巻くと冷たいので、熱中症対策として使っていたらいい」と、涼しい北海道から来た子供たちに暑さ対策を勧めていた。